

令和 7 年 8 月 14 日

那須烏山市議会議長
青木 敏久 様

(議席番号) 3 番 荒井 浩二



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 公共施設の維持管理について	那須烏山市公共施設等総合管理計画でも言及されているように、本市内の公共施設は耐震化や設備の老朽等の様々な問題を抱えている。本市の財政状況も決して余裕があるわけではなく、維持管理に際し、それらの課題や各施設の需要を反映しながら、更新・統廃合・長寿命化等の対策を中長期的な視野で、早期に覚悟を持って取捨選択し、決断し、実行していく計画の必要に迫られている。 ① 公共施設の再編において、当計画では当初、令和 7 年までに 10%削減とされていたが、令和 4 年に改訂されて令和 8 年までに 10%削減へ（令和 3 年までに 5.5%削減）と変更された。現在の計画の進捗と、今後の改修、統廃合の方針について伺う。 ② 烏山南公民館の改修について伺う。 ③ 緑地運動公園及び大桶運動公園の野球場・多目的競技場の利用状況と、グラウンド整備について伺う。	市 長 教育長
2. 自治会交付金について	令和 7 年 6 月定例会の一般質問の後に、防犯灯電気料金の自治体負担への要望に対し、議会の YouTube 動画や議会だよりを見た方々や要望書をご存知なかった自治会関係者からも新たに反響をいただき、そこに共有される危機感と不公平さの是正を訴える声から、この問題への関心の大きさが感じられた。 ① 「現在の自治会交付金をいくらか減額してでも、自治体による防犯灯電気料金の全額負担が実現すれば」とまで仰る自治会関係者もあり、会員数や財政状況からも喫緊の課題とされ、市の早急な対応を求める自治会もある。今後の自治会交付金改定の検討について伺う。 ② 自治会交付金の交付規程から、現状は均等割と自治会に加入している世帯毎の戸数割が用いられているが、実務上、自治会では地域にいる自治会非加入者への対応も求められることが多く、それらの業務の負担が交付金には反映されず、交付算定基準を加入世帯に限定するのでは各地域にとっても不公平であり、これらの交付規程を見直すべきだと考えるが、本市の見解を伺う。	市 長
3. LINE の利活用について	利用者の多い本市 LINE に、本年度から新たに拡張ツールが導入され、様々な機能が実装された。 ① 新機能と、今後の拡張性、また、本市 LINE の利用状況や運用方針について伺う。 ② 市が主導し、市民向けの講習会等を行うことで、住民の利便性向上や情報共有への活用が促進され、また、例えば自治会活動等においても効率化が図られると考えるが、本市の考えについて伺う。	市 長
総計時間	60 分	発言所要時間 30 分 答弁を求める予想時間 30 分

